

# センターだより 522号

奈良市北人権文化センター 令和4年6月

ようはいしょ

## 「明治天皇遙拝所建設の記」発見

明治天皇遙拝所建設の記

この度、明治天皇遙拝所建設に至る貴重な記録が百年以上の時を経て、完全な状態で町内の住宅から発見されました。そもそも、明治天皇遙拝所が光蓮寺にあることを知っている人は少ないと思います。さらに、「遙拝所」という聞きなれない言葉ですが、遠くから拝むところという意味です。記録によるとこの遙拝所は、四民平等を法的に定め、皆の幸せを願っておられた明治天皇の遺徳をしのび、皆で遠くから拝めるようにと、大正6年2月5日に石を運ぶことから始まり、<sup>せんびつ</sup>染筆（書画を書くこと）を伏見宮文秀女王にお願いするため第三（現鼓阪）小学校校長が山村御殿まで出向くなど幾多の困難を乗り越えて、大正7年1月28日に完成したことが記録されています。

なおこの資料は、奈良県立同和問題関係史料センター（奈良市大安寺町1丁目23-1）にて6月から1年間展示される予定です。詳しいことは電話（64）1499で確認してください。

